

小山町自転車活用推進計画 (案)

令和 2 年 3 月

小山町

目次

第 1 章 総論	1
1.1 自転車活用推進計画の位置づけ	1
1.2 計画区域	1
1.3 計画期間	1
第 2 章 小山町の特性及び自転車に関する現状と課題	2
2.1 小山町の特性	2
2.2 計画の方向性	9
2.3 小山町の自転車に関する現状と課題	10
第 3 章 計画目標の設定	16
3.1 目指す姿	16
3.2 計画目標	16
第 4 章 自転車活用の推進に関する実施すべき施策、具体的な措置	17
4.1 自転車の利用促進	17
4.2 スポーツ・健康	25
4.3 サイクルツーリズム	29
4.4 安全・安心	32
第 5 章 計画推進に向けた体制、フォローアップ	36
5.1 計画の推進体制	36
5.2 計画のフォローアップ、見直し方法	36
5.3 目標指標の設定	37

はじめに



自転車は、幅広い年齢層で利用があり身近で便利な乗り物です。また、スポーツやレジャーにも自転車を取り入れられ、自転車の利用が多様化しています。

小山町では、ツアー・オブ・ジャパンをはじめ、富士山国際ヒルクライム、FUJI-ZONCOLAN ヒルクライム in 小山町、ママチャリグランプリなど、裾野の広い自転車競技大会が開催されており、多くのサイクリストが訪れています。さらに、東京 2020 オリンピック・パラリンピック自転車競技（ロード）が本町で開催されます。

このような自転車競技に加え、富士山をはじめとした観光資源や、起伏に富んだ地形を活かした自転車の活用、さらには町民の皆様が安全で快適に自転車を活用できるような取組を加速させるため、「小山町自転車活用推進計画」を策定いたしました。本計画は、「自転車の利用促進」「スポーツ・健康」「サイクルツーリズム」「安全・安心」の4つの視点から掲げた施策を、町民の皆様をはじめ、関係機関との連携・協働により、東京 2020 オリンピック・パラリンピック自転車競技（ロード）の成功と大会後のレガシーを構築し、サイクルスポーツの聖地づくりを推進してまいります。

結びに、本計画を策定するにあたり、多くの皆様から貴重なご意見をお寄せいただき、また小山町自転車活用推進会議の委員の皆様からご尽力を賜りましたことに対しまして、心から感謝申し上げます。

令和 2 年 3 月

小山町長 池 谷 晴 一

第1章 総論

1.1 自転車活用推進計画の位置づけ

自転車は、通学・通勤時や買い物など、日常的に利用される交通手段で、子どもからお年寄まで幅広い年齢層が利用しています。近年では、健康増進や環境負荷への低減、災害時の移動の有能性など、自転車のメリットが見直され、更なる利活用が進んでいます。

国においては、交通の安全の確保を図りつつ、自転車の利用を増進し、交通における自動車への依存の度を低減することによって、公益の利益の増進に資すること等を基本理念とする、「自転車活用推進法」（平成 28 年法律第 113 号）（以下、法）が平成 29 年 5 月に施行され、市町村は「自転車活用推進計画」（以下、国計画）を勘案し、地域の実情に応じた自転車の活用を推進する施策を定めた計画を策定するよう努めることとされています。さらに、平成 30 年 6 月には国計画が閣議決定されました。これにより、静岡県においても、「静岡県自転車活用推進計画」（以下、県計画）が平成 31 年 3 月に策定され、静岡県内での自転車の計画的かつ効率的な利活用が求められています。

このような情勢のもと、小山町では、法第 11 条に基づき国計画及び県計画を勘案し、本町の実情に応じた自転車活用を推進するため、「小山町自転車活用推進計画」を策定しました。

1.2 計画区域

計画区域は、小山町全域とします。

1.3 計画期間

令和 2 年度～令和 7 年度



第2章 小山町の特性及び自転車に関する現状と課題

2.1 小山町の特性

小山町は、「自然」「スポーツ」「観光」において特性がみられます。

表 2-1 小山町の特性

	特 性
自 然	①起伏に富んだ地形 ②自然災害発生時の被災可能性高
スポーツ	③東京 2020 オリンピック・パラリンピックとの共存 ④自転車競技との関わり
観 光	⑤豊富な観光資源 ⑥自転車を楽しむ環境整備

(1) 自然

小山町は、静岡県東の玄関口で、西端は富士山頂まで達しており、神奈川、山梨両県に接する場所に位置しています。周りは森林、水資源など自然豊かな環境で地域資源に恵まれ、起伏に富んだ地形を有しています。

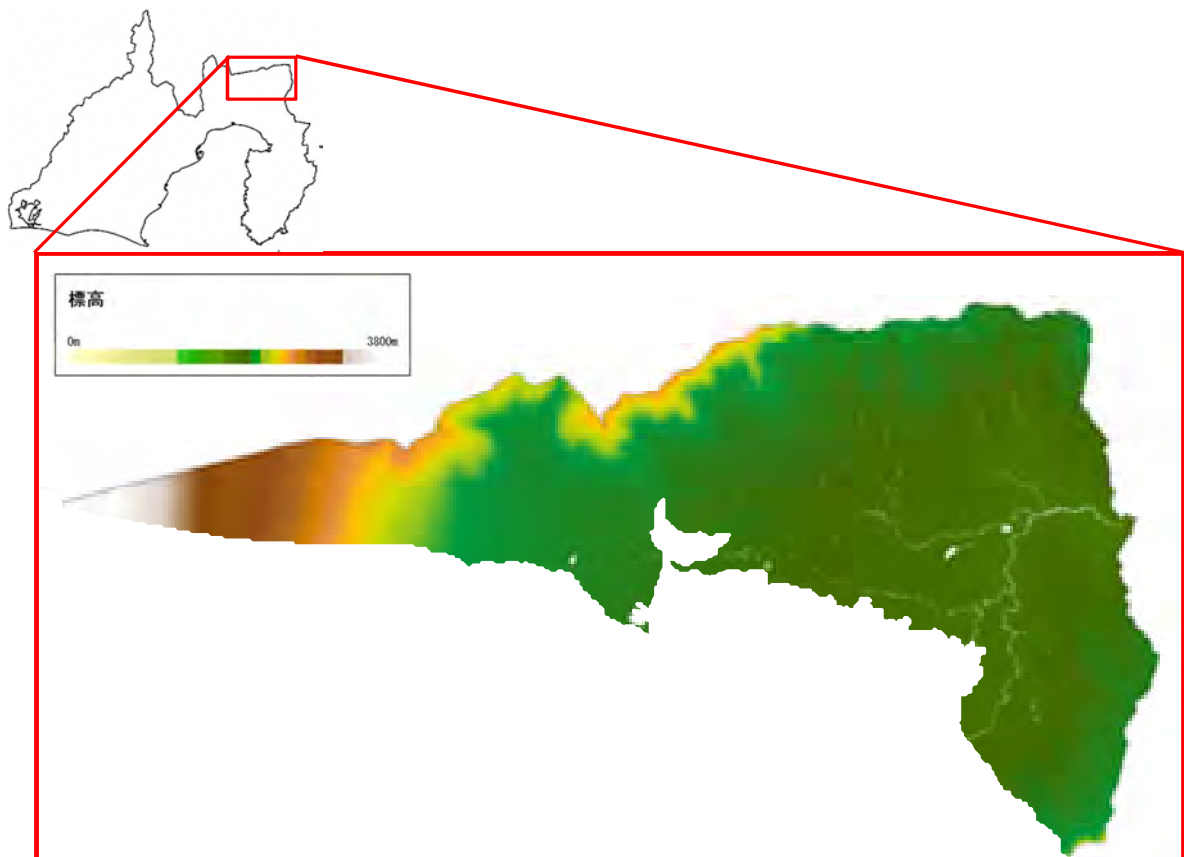
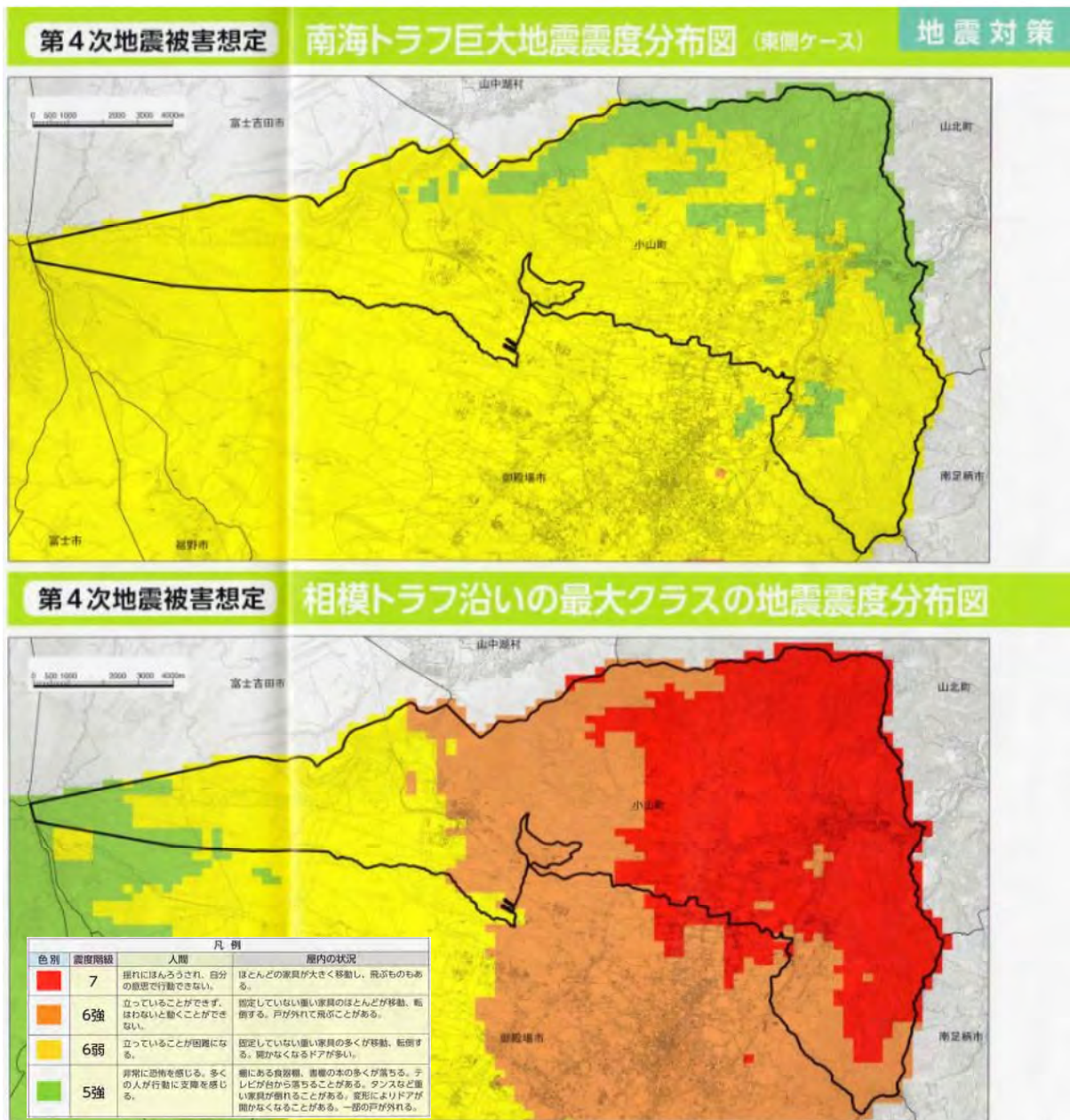


図 2-1 小山町地形図

➡ 特性① 起伏に富んだ地形を有しています。



また、南海トラフや相模トラフでの発生が懸念されている巨大地震の被害を受ける可能性があり、地震やその他自然災害が発生した際の移動手段に自転車の活用が期待されます。



出典：保存版 小山町防災対策ガイドブック

図 2-2 地震震度分布図

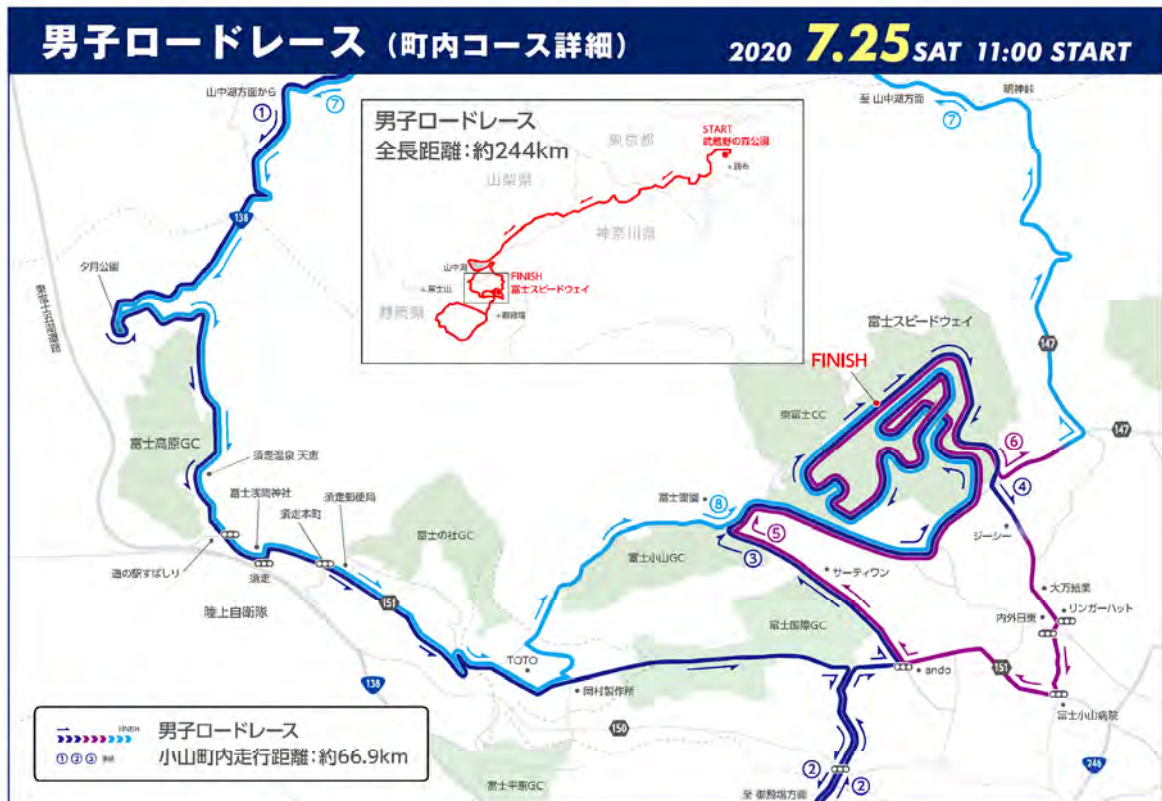


特性② 自然災害発生時に被害を受ける可能性が高いです。
(移動手段に自転車の活用が期待)



(2) スポーツ

令和2年、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催となり、自転車競技のうちロード種目が小山町で開催されます。





出典: 小山町 HP

図 2-3 東京 2020 オリンピック・パラリンピック自転車競技コース図

特性③ 東京 2020 オリンピック・パラリンピック自転車競技が本町で開催されます。



また、本町は UCI（国際自転車競技連合）公認国際自転車ロードレースであるツアー・オブ・ジャパンの開催地でもあり、自転車競技を開催する環境が整っているといえます。



図 2-4 ツアー・オブ・ジャパン ステージ位置図



特性④ 自転車競技に適する環境を有しています。



(3) 観光

小山町は世界文化遺産である富士山をはじめ、富士スピードウェイやあしがら温泉、そして金太郎のゆかりの地である金時公園など、観光資源が豊富です。



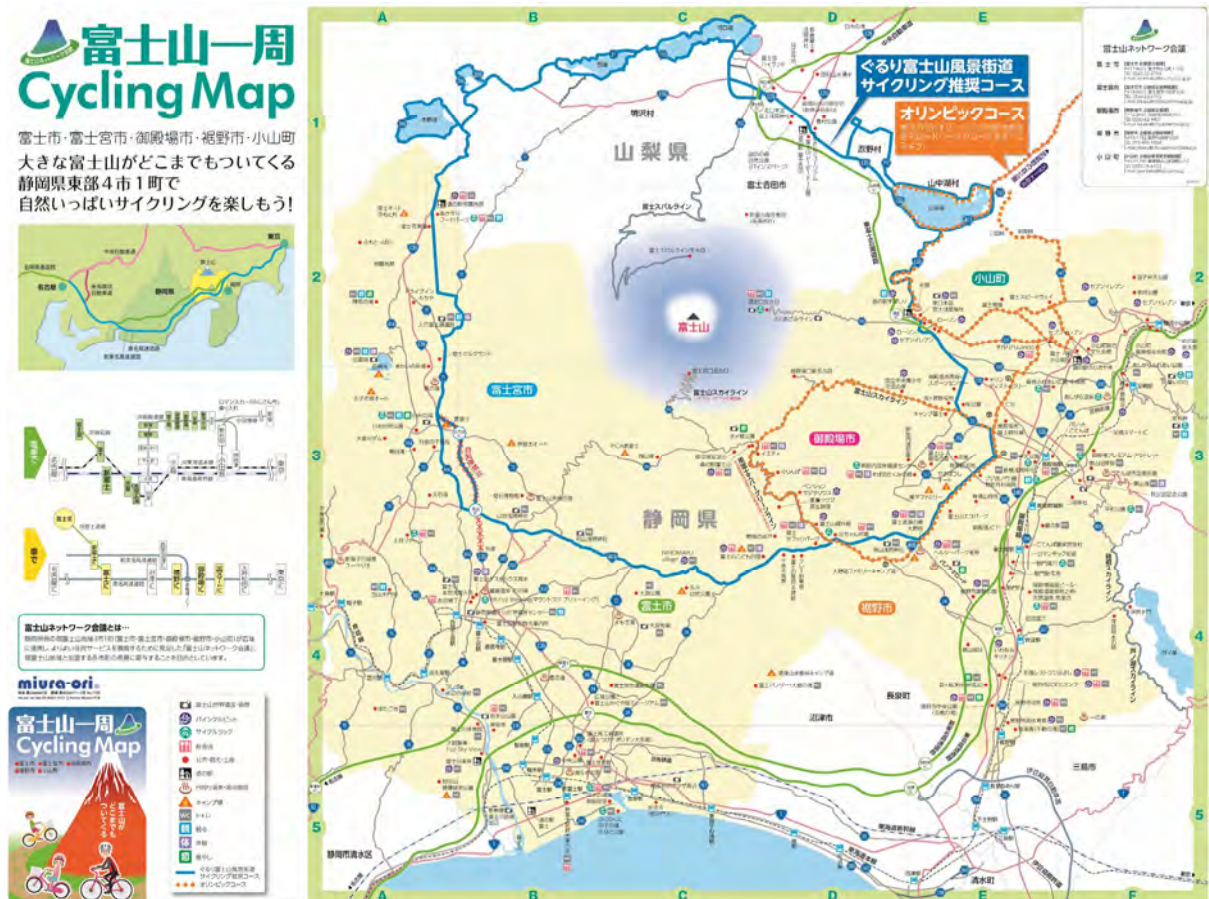
出典：小山町 HP

図 2-5 おやま観光マップ

➡ 特性⑤ 様々な観光資源を有しています。

富士山の麓にある4市1町（富士宮市、富士市、裾野市、御殿場市、小山町）で作成したサイクリングマップは、「ぐるり富士山風景街道サイクリング推奨コース」と「オリンピックコース」の2コースを掲載しています。

小山町は町内に14ヶ所バイシクルピットを設置しており、自転車観光のポテンシャルが高いといえます。



◆バイシクルピット

自転車利用者に、自転車の修理道具や空気入れの貸出、休憩場所の提供等を行う施設

出典：小山町 HP

図 2-6 富士山一周 Cycling Map

➡ 特性⑥ 自転車を楽しむ環境整備が進んでいます。



2.2 計画の方向性

小山町の特性を踏まえ、国計画及び県計画を勘案し、小山町自転車活用推進計画は4つの視点「自転車の利用促進」「スポーツ・健康」「サイクルツーリズム」「安全・安心」に分けて策定します。



図 2-7 計画の方向性



2.3 小山町の自転車に関する現状と課題

(1) 自転車の利用促進

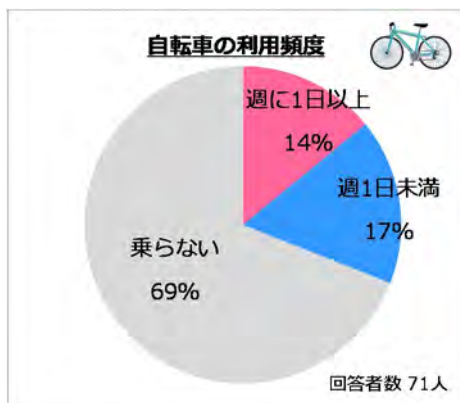
現 状 小山町内では、習慣的に自転車を利用している方は約14%と少なく、自転車利用を促進するためには安全で走りやすい道路整備が必要です。また、自転車利用者のうち車道の通行経験のない方は、走ってよい場所が分からないという理由が多く、通行位置を明確化する必要があります。

また、自転車通行空間の整備と合わせ、自転車利用を促進し、「自転車のあるライフスタイル」を実現していくためには、町民が興味を示す「運動不足解消」「節約」等に関する自転車のメリットを周知していく必要があります。

課 題 ①自転車通行空間の整備推進

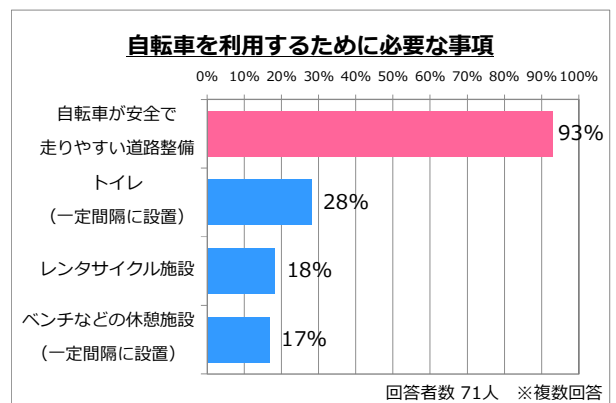
②多様な目的に応じた自転車利用促進

▼習慣的に自転車を利用している方は
約14%と少ない



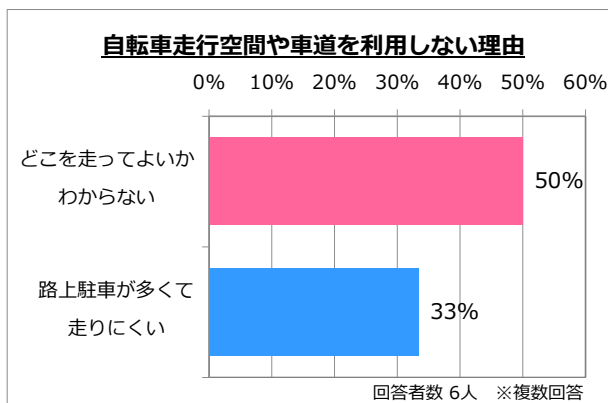
出典：ウェブアンケート調査(令和元年11月15日～18日)

▼自転車利用を促進するためには安全で
走りやすい道路整備が必要



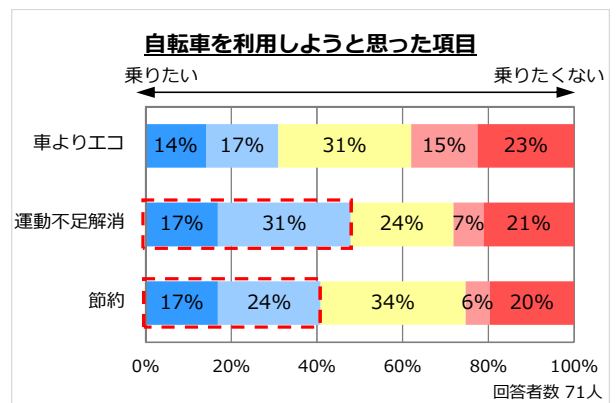
出典：ウェブアンケート調査(令和元年11月15日～18日)

▼車道の通行経験のない方は、走ってよい場所が分からないという理由が多い



出典：ウェブアンケート調査(令和元年11月15日～18日)

▼町民は「運動不足解消」や「節約」等に関する自転車のメリットに興味を示す



出典：ウェブアンケート調査(令和元年11月15日～18日)



(2) スポーツ

現 状 令和2年には東京2020オリンピック・パラリンピックの自転車競技が、小山町で開催されることで、大会後の競技会場や施設の有効活用、参加者や観戦者の増加などが求められています。

また、小山町の起伏に富んだ地形を活かした自転車競技大会が開催されており、毎年町内外から多くのサイクリストが小山町を訪れています。今後、更なるサイクリストの受入れのためには、小山町の起伏に富んだ地形を生かした新たなコースを設置する必要があります。

課 題 ①東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーの創出
②自転車競技大会の更なる充実

▼小山町は東京2020オリンピック・パラリンピック自転車競技の開催地で、機運が高まっている

＜東京2020オリンピック・パラリンピックの
自転車競技会場である富士スピードウェイ＞



＜東京2020オリンピック・パラリンピック
テストイベント＞



▼近年の自転車競技大会開催状況

(プロから実業団、一般サイクリストまでが参加する裾野が広いレースを展開)

平成28年	ツアー・オブ・ジャパン	富士チャレンジ200
	富士山国際ヒルクライムロードレース	ママチャリグランプリ
	FUJI-ZONCOLANヒルクライムin小山町	
平成29年	ツアー・オブ・ジャパン	FUJI-ZONCOLANヒルクライムin小山町
	JBCFふじあざみラインヒルクライム	富士チャレンジ200
	富士山国際ヒルクライムロードレース	ママチャリグランプリ
	JBCF富士山ヒルクライム	
平成30年	ツアー・オブ・ジャパン	富士チャレンジ200
	富士山国際ヒルクライムロードレース	ママチャリグランプリ
	FUJI-ZONCOLANヒルクライムin小山町	



(3) 健康

現 状 小山町民は、メタボリックシンドローム症候群該当者数が3年連続県内1位、BMI25以上該当者数が2年連続県内1位と、町民の健康増進が必要です。

その一方、自転車の利用が健康につながるということが各種研究結果からも立証されています。また、町民を対象としたアンケートにより、小山町民は自転車による健康増進イベントへの参加意向が高いというデータを得ています。

課 題 ①健康増進を目的とした自転車利用機会の創出

▼メタボリックシンドローム症候群該当者数が3年連続県内1位

	メタボ該当者 ランキング
平成28年	県内1位
平成29年	県内1位
平成30年	県内1位

◆メタボリックシンドローム：

内臓肥満に高血圧・高血糖・脂質代謝異常が組み合わさることにより、心臓病や脳卒中などになりやすい病態

出典：小山町健康増進課

▼BMI25以上該当者数が2年連続県内1位

	BMI25以上 該当者
平成28年	県内2位
平成29年	県内1位
平成30年	県内1位

◆BMI：

肥満度を表す指標として国際的に用いられている体格指数。 $[\text{体重(kg)}] \div [\text{身長(m)}]^2$ で算出。

出典：小山町健康増進課

▼健康にもつながることが、研究結果からも立証されている



自転車利用による体脂肪率と体重の減少

自転車に乗る習慣のない人が、3ヵ月間の期間内に「できるだけ自転車を利用するように」というゆるやかなルールで自転車運動を実施したところ、6名平均で体重約2.3kg減少しました。

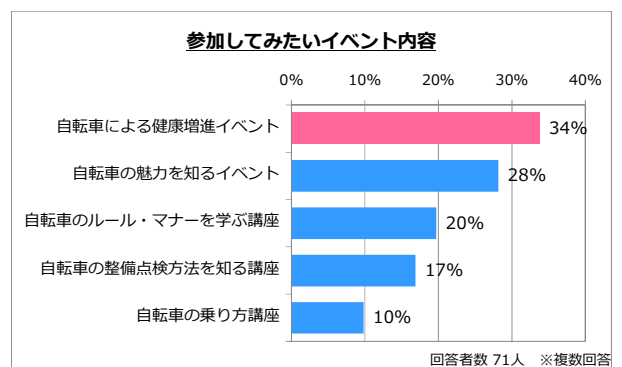
被験者：男性6名(43.7±10.5歳)

実験方法：3ヶ月間の自転車運動を実施

出典：「Health Data File by cyclingood」

株式会社シマノ

▼健康増進イベントへの参加意向が高い



出典：ウェブアンケート調査(令和元年11月15日～18日)



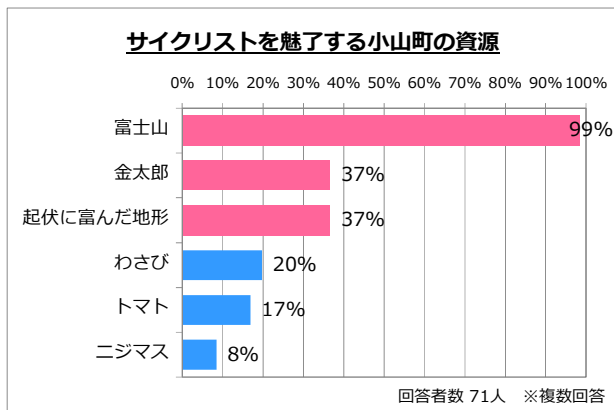
(4) サイクルツーリズム

現 状 小山町は、「富士山」、「金太郎」、「起伏に富んだ地形」などの観光資源に恵まれており、観光都市として、ポテンシャルが高い町です。これらを活かし、更なる交流人口の増加に向け、サイクルイベントやロードバイク体験イベント等、自転車に関するイベントの更なる拡大が求められています。

また、町内へ訪問されたサイクリストのおもてなしのため、現在整備されているバイシクルピット等の受入環境の機能向上、拡大が必要です。

課 題 ①観光資源を活かした更なる賑わいの創出
②観光客のニーズに応じた受入環境の整備

▼「富士山」、「金太郎」、「起伏に富んだ地形」など、資源に恵まれている



出典：ウェブアンケート調査(令和元年 11 月 15 日～18 日)

▼バイシクルピットは、町内で 14 ヶ所設置 ＜バイシクルピット設置状況＞



▼近年のサイクルイベントやロードバイク体験イベント等、自転車に関するイベントの開催状況

平成28年

ロードバイク体験ブース

平成29年

2017秋の収穫祭！富士山グルメライド

ロードバイク体験ブース

平成30年

2018秋の収穫祭！富士山グルメライド

NTN 回る学校（TOJ地域貢献プロジェクト）

グランfond丹沢

富士山ぐるっと一周100kmサイクリング大会

ロードバイク体験ブース



(5) 安全

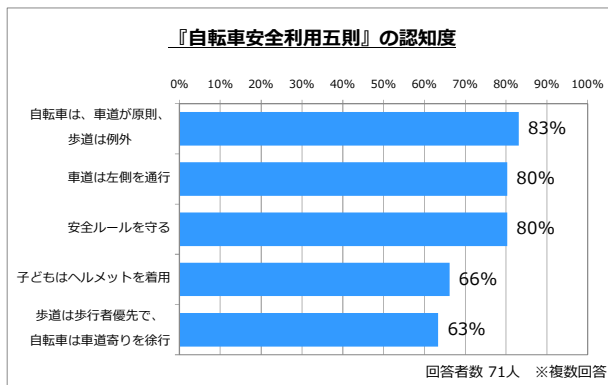
現 状 小山町民の自転車利用ルールに対する認知度は、一定以上の水準にはあるものの、自転車通行空間やその通行ルールなどについて、整備形態別での認知度に偏りがあり、自転車に関するルールの共通認識を持つことが必要です。

また、自転車利用者がドライバーに配慮してもらいたい事項は主に「路上駐車抑制」で、ドライバーが自転車利用者に配慮してもらいたい事項は主に「左側通行の徹底」「並走禁止」を挙げており、共に思いやりを持つことが重要です。

自転車関連事故では、自転車の利用者が事故の被害者になることもあれば、加害者になることもあるため、ヘルメット着用、自転車損害賠償保険の加入等について定めた県条例が、2019年4月に施行されました。

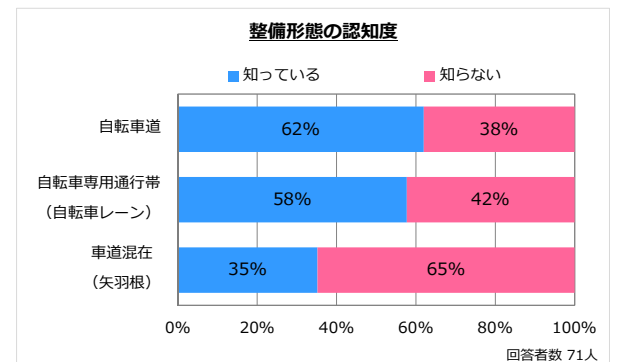
課 題 ①安全な自転車利用に関する意識の向上

▼自転車利用ルールに対する認知度は一定以上ある



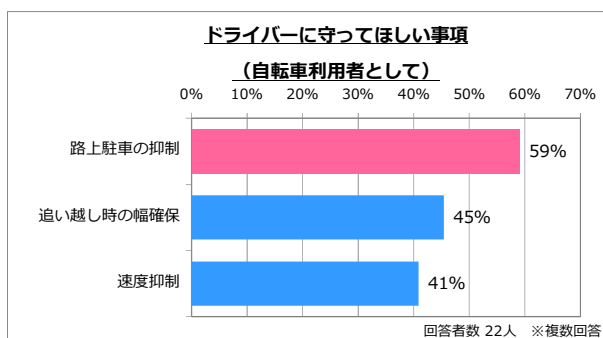
出典：ウェブアンケート調査(令和元年11月15日～18日)

▼整備形態別で認知度に偏りがある



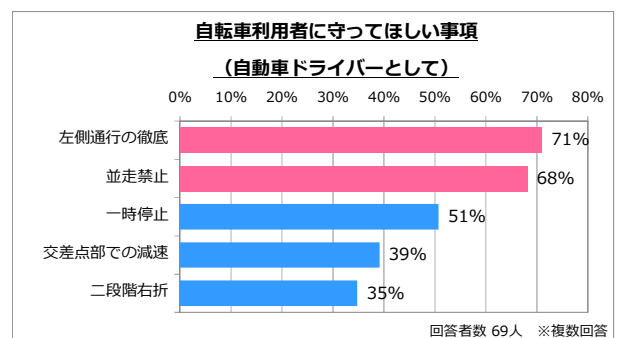
出典：ウェブアンケート調査(令和元年11月15日～18日)

▼自転車利用者がドライバーに配慮してもらいたい事項は主に「路上駐車抑制」である



出典：ウェブアンケート調査(令和元年11月15日～18日)

▼ドライバーが自転車利用者に配慮してもらいたい事項は主に「左側通行の徹底」「並走禁止」である



出典：ウェブアンケート調査(令和元年11月15日～18日)

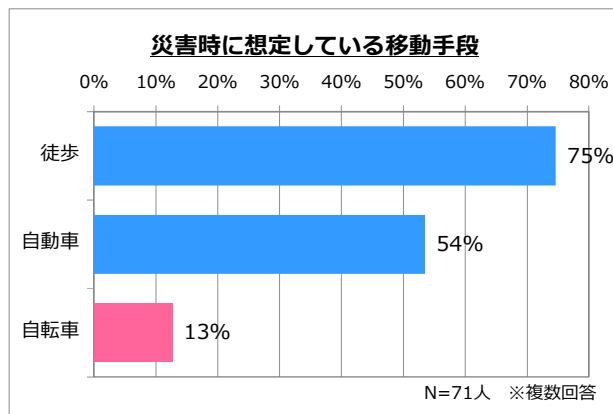


(6) 安心

現 状 町民のうち、災害時に自転車の利用を想定されている方は約13%と少ないです。
一方、平成23年に発生した東日本大震災の被災地では、発災後の移動手段として自転車の利用が増加しています。そのため、小山町においても災害時に自転車が有する機動性を活かすことで、地域の安全・安心を向上させる必要があります。

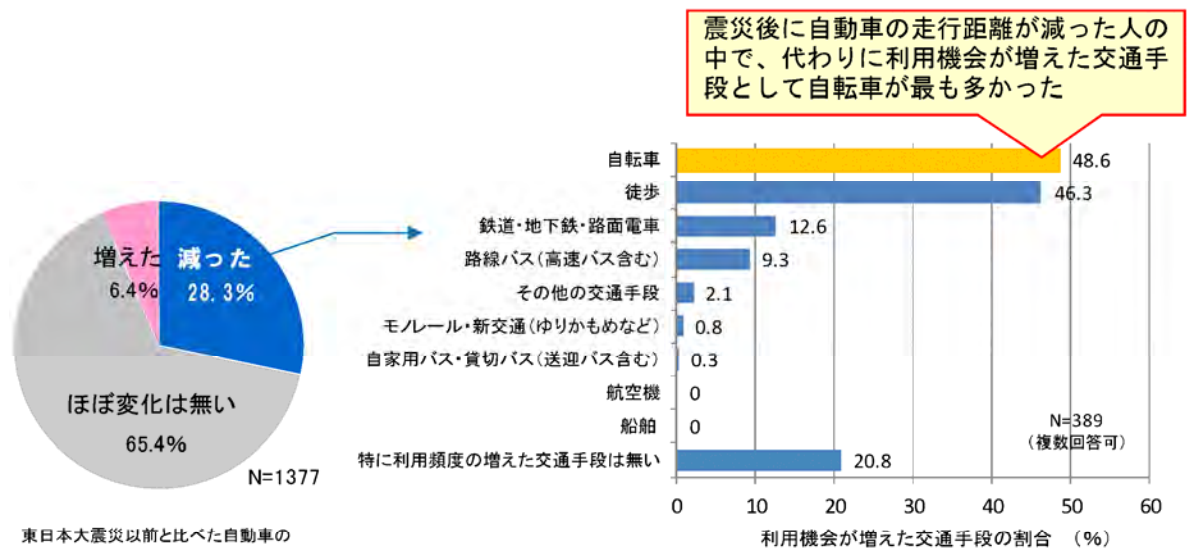
課 題 ①災害時における地域の安全・安心の向上に向けた、自転車の利用促進

▼災害時に自転車の利用を想定されている方は約13%と少ない



出典：ウェブアンケート調査(令和元年11月15日～18日)

▼東日本大震災後、自動車走行距離が減った方の中で利用機会が増えた交通手段のうち、自転車が最も多い



※震災後に自動車の利用が減ったと回答した人を対象

調査方法：WEBアンケート調査

回答者：全サンプルのうち、普通自動車を利用している1377人

【出典：大震災による行動の変化に関する地域別アンケート調査(1回目)(日本モビリティ・マネジメント会議)】

出典：安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン(平成28年7月)/国土交通省道路局 警察庁交通局

第3章 計画目標の設定

3.1 目指す姿

東京 2020 オリンピック・パラリンピック自転車競技の開催地であり、富士山のような日本を代表する観光資源を活かし、「サイクルタウンの地」を目指します。また、自転車利用の裾野を拡大させるための、安全で快適な自転車通行空間の整備や自転車の利用促進に向けた施策を推進し、気軽に楽しく自転車を利用できる環境を創出します。

目指す姿

だれもが気軽に楽しめる、サイクルタウンの実現

3.2 計画目標

計画目標は、国計画、県計画及び小山町の課題をふまえ、以下のように設定します。

表 3-1 小山町自転車活用推進計画 目標

視点	課題	目標
自転車の 利用促進	・ 自転車通行空間の整備推進 ・ 多様な目的に応じた自転車利用促進	自転車交通の役割拡大による 良好な都市環境の形成 (長期)
スポーツ・ 健康	・ 東京 2020 オリンピック・パラリンピックの レガシーの創出 ・ 自転車競技大会の開催の更なる充実 ・ 健康増進を目的とした自転車利用機会の創出	サイクルスポーツの振興等による健康まちづくりの実現
サイクル ツーリズム	・ 観光資源を活かした更なる交流人口の増加 ・ 観光客のニーズに応じた受入環境の整備	サイクルツーリズムの推進による観光立町の実現
安全・安心	・ 安全な自転車利用に関する意識の向上 ・ 災害時における地域の安全・安心の向上に向けた、自転車の利用促進	自転車事故のない安全で安心な社会の実現



第4章 自転車活用の推進に関する実施すべき施策、具体的な措置

4.1 自転車の利用促進

目標：自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成

課題	施策	措置
・ 自転車通行空間の整備推進	施策1： 自転車ネットワークの形成	①東京 2020 オリンピック・パラリンピック自転車競技コースを活かした自転車通行空間の整備（ネットワーク計画）
・ 多様な目的に応じた自転車利用促進	施策2： 自転車利用の裾野拡大	②自転車の魅力に関するイベントの開催 ③自転車のメリット（節約、環境にやさしいなど）に関する周知推進

(1) 措置①東京 2020 オリンピック・パラリンピック自転車競技コースを活かした自転車通行空間の整備（自転車ネットワーク計画）

◆自転車ネットワーク計画

安全で快適な自転車通行空間を効果的、効率的に整備することを目的に、自転車ネットワーク路線を選定し、その路線の整備形態等を示した計画をいう。

出典：安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン(平成 28 年 7 月)/国土交通省道路局 警察庁交通局

<自転車ネットワーク計画の基本方針>

- ・ 小山町の観光資源や地域資源、起伏に富んだ地形を生かしつつ、オリンピックの自転車競技コースを活用する。

※今後関係機関等との協議により、変更となる可能性があります。





＜自転車ネットワーク計画の考え方①＞

東京 2020 オリンピック・パラリンピックの競技コースを主とする



図 4-1 自転車ネットワーク計画の考え方①

※今後関係機関等との協議により、変更となる可能性があります。

①に、観光地やバイシクルピット、サイクルラックなど既設の施設等につながるルートを追加

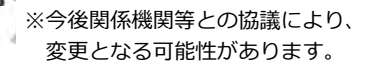


図 4-2 自転車ネットワーク計画の考え方②



＜自転車ネットワーク計画の考え方③＞

①②に、通学通勤利用及び核となる施設の利用を加味したルートを追加



図 4-3 自転車ネットワーク計画の考え方③

※今後関係機関等との協議により、変更となる可能性があります。



＜自転車ネットワーク計画の考え方④＞

①②③に、隣接している御殿場市、神奈川県山北町や南足柄市、山梨県山中湖村との広域的な連携を踏まえ、市町境の路線を追加



図 4-4 自転車ネットワーク計画の考え方④

※今後関係機関等との協議により、変更となる可能性があります。



自転車ネットワーク計画の考え方①～④を踏まえ、次の通り自転車ネットワーク計画候補路線を定める。

▼自転車ネットワーク計画候補路線

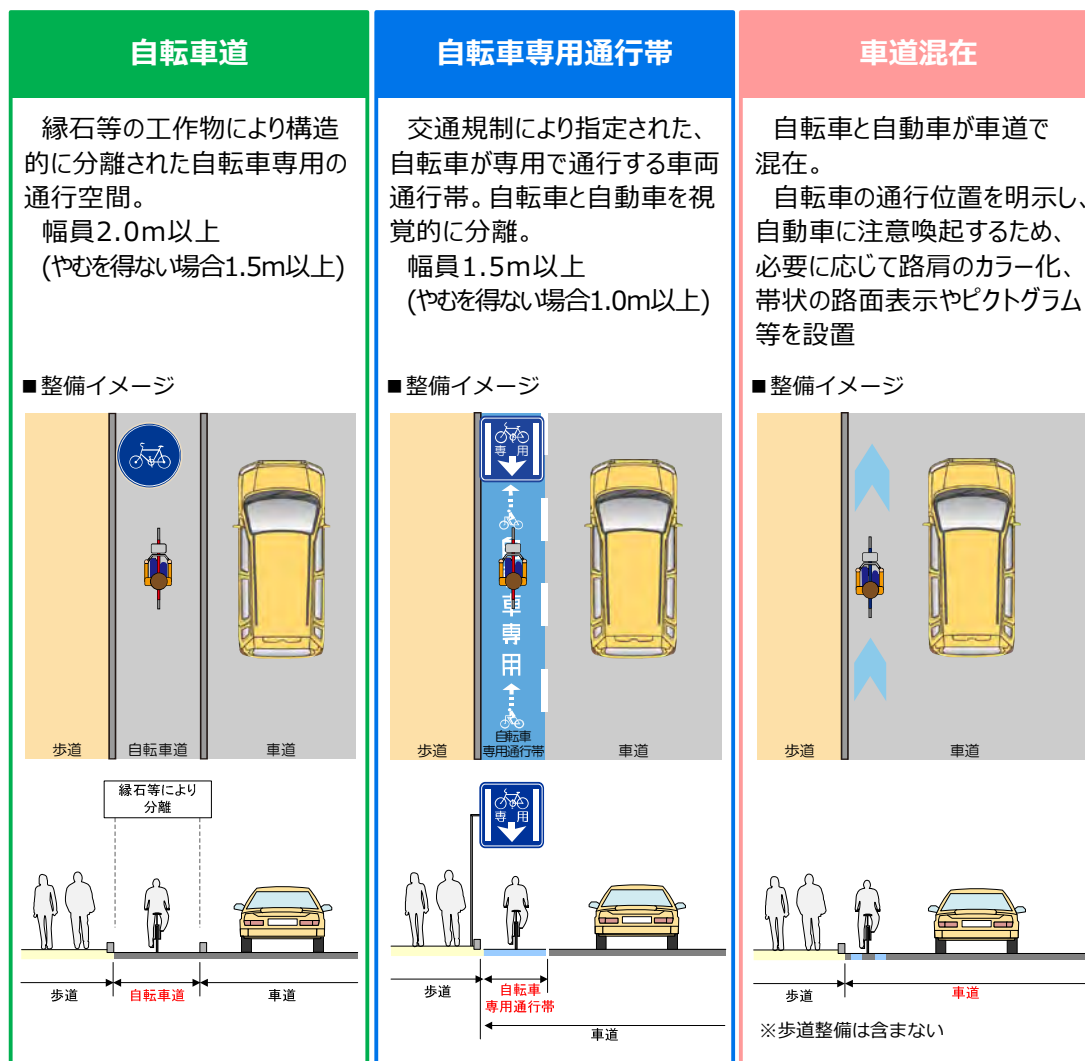


図 4-5 自転車ネットワーク計画候補路線



◆コラム◆自転車通行空間の整備形態イメージ

「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」では、自動車の速度と交通量から、車道通行を基本とした整備形態選定の考え方が記載されています。



出典：安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン(平成28年7月)/国土交通省道路局 警察庁交通局



(2) 措置②自転車の魅力に関するイベントの開催

- ・東京2020オリンピック・パラリンピック自転車競技の機運醸成に向けたイベントの開催

▼サイクルフェスタ in OYAMA (200日前イベント)



- ・オリンピック記録映像の上映会の実施

▼オリンピック記録映像イメージ



- ・幼児及び小学生を対象とした自転車教室の開催支援

▼自転車教室開催のお知らせ



出典：小山町生涯学習課

- ・町内愛好団体と連携した、自転車にふれあう機会の創出

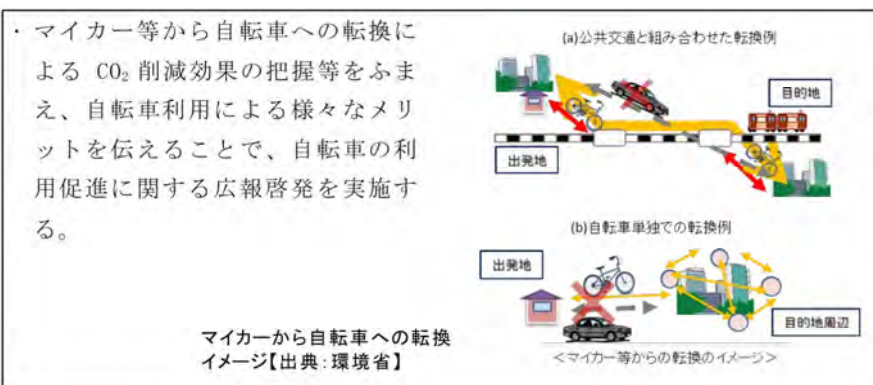
▼イベントでの自転車体験ブースの出店の様子



(3) 措置③自転車のメリット（節約、環境にやさしいなど）に関する周知推進

- ・自転車利用促進に関する啓発活動推進

▼啓発イメージ



出典：地方版自転車活用推進計画 策定の手引き（案）/国土交通省



4.2 スポーツ・健康

目標：サイクルスポーツの振興等による活力ある健康長寿社会の実現

課題	施策	措置
・東京 2020 オリンピック・パラリンピックのレガシーの創出 ・自転車競技大会の開催を促進	施策 3： サイクルスポーツの普及、振興	④東京 2020 オリンピック・パラリンピック自転車競技コースを活かした自転車通行空間の整備（ネットワーク計画）【再掲】 ⑤自転車競技大会の開催 ⑥マウンテンバイクコースの整備 ⑦自転車アスリートの育成、競技力向上を支援 ⑧県内に拠点を置くプロサイクリングチームの活用による自転車競技の PR
・健康増進を目的とした自転車利用機会の創出	施策 4： 自転車を活かした健康づくり	⑨自転車利用による健康増進に関する周知推進 ⑩おやま健康マイレージを活用した自転車利用促進 ⑪健康に関するイベントの開催

- (1) 措置④東京 2020 オリンピック・パラリンピック自転車競技コースを活かした自転車通行空間の整備（ネットワーク計画）【再掲】



(2) 措置⑤自転車競技大会の開催

- ・ ツアー・オブ・ジャパン、富士山国際ヒルクライム、富士チャレンジなどの継続的な開催・充実による参加者の増加

▼ツアー・オブ・ジャパンの様子



出典：小山町観光振興計画（平成 27 年 3 月）

(3) 措置⑥マウンテンバイクコースの整備

- ・ 自転車関係者と連携した、マウンテンバイクコースの開拓、整備の検討

(4) 措置⑦自転車アスリートの育成、競技力向上を支援

- ・ トップアスリート強化事業、ジュニア育成・強化事業等の実施



出典：静岡県自転車活用推進計画



(5) 措置⑧県内に拠点を置くプロサイクリングチームの活用による自転車競技のPR

- ・レース観戦方法や自転車乗り方講習会の実施

▼ツアー・オブ・ジャパン関連スクール開催状況



出典：小山町商工観光課

(6) 措置⑨自転車利用による健康増進に関する周知推進

- ・自転車と健康に関するチラシなどを作成、配布し、自転車利用を促進

▼自転車と健康に関するポスターイメージ

国土交通省 自転車活用推進本部

昔は通勤に自転車なんて考えたこともなかった。会社の同僚や近所のひとが、さっそうと自転車にまたがって通勤する姿を見けるようになった。どうやら出かける方でもそういうひとが増えているらしい。歳とともに少し体調に気を遣うようになってきた。忙しい合間にランニングやジムに行く時間がとれない。混雑する通勤電車やクルマの渋滞に飽き飽きしていた。カッコいい時計と自転車とスーツ、なかなかいいじゃないか。コレクターへすぐくすぐられる。これがこれからの、オレの新しいビジネススタイル。

時計と自転車とスーツ オレの新しいビジネススタイル

自転車通勤をサポートする施設

自転車ラック・ロッカー・シャワーなどのサービス施設も登場

自転車の輸送割合と糖尿病患者数

自転車通勤による体重・体脂肪率の変化

出典：国土交通省 自転車活用推進本部作成ポスター

(7) 措置⑩おやま健康マイレージを活用した自転車利用促進

- ・おやま健康マイレージ事業に、自転車利用による自己申告が可能な旨をPR

▼おやま健康マイレージ リーフレット

やい方は簡単 ポイントを貯めて健康とお得をゲット!!

対象：18歳以上の町民・町内に在勤の方

1 ポイントカードをもらう
おやま健康マイレージリーフレットを提出すると、ポイントカードがもらえます。

2 30ポイント貯める
★押印は、のぼり旗を目印に!
★自己申告も可!!
※賞品 (Q&A) 参照

3 ポイントカードを提出
3つのお得がもらえる!
交通 健康福祉会館、総合文化会館
案内 支所 (足柄・北郷・遠見)

その場で、500円相当のハッピーチケットと交換!
抽選期間中に1枚、年間4枚まで。
温泉入浴券、トレーニング利用券、こみねなどの温泉からのお土産などもお楽しみいただけます。

スマイル賞が当たるかも!
自動的に応募完了!!
※スマイル賞は、町内事業所からの品物を出して、3,000円相当まであります。

ふじのくに健康いきいきカードをゲット!
県内約900か所の協力店で提示するとサービスが受けられます。

Q&A

Q ポイントカードはどこでもらえるの? A 健康福祉会館、文化会館、本庁と各支所窓口の他に、地域の保健委員や健康増進事業所(※)でもらえます。
※別紙「おやま健康マイレージのお得」を参照。

Q 金太郎スタンプはどこで押してもらえるの? A 特定療養所や各種がん検診、乳幼児健診、予防接種は、健康手帳・母子手帳の提示でまとめてポイントゲット。町の健康事業や、健康フェスタ、富士山金太郎祭りなどの町のイベントは会場で、シニアクラブやふれあいサロン等の地域行事では、保健委員、シニアクラブ会長、地区婦人会等が押印する。健康増進事業所(※)でもポイントがもらえます。

Q ハッピーチケットの使い道は? A 温泉入浴券、トレーニング、パークゴルフ、カフェオムリ利用券、文化事業補助券、こみねとの温泉券になる。(500円相当)。抽選と抽選の期間中に1枚、年間4枚までもらえます。ただし、貯まったポイントカードは、スマイル賞への応募券となるから、出したら当たる確率がアップ!

Q スマイル賞の抽選はいつ? A 年4回の抽選は、3月・6月・9月・12月の各第3金曜日、締切は2日前。抽選結果を個人通知する。事業所からのつれい(※)が対象! 抽選通知に賞品の引換券を同封するので、お店などで受け取ってね。

Q もっと詳しく教えて! A 担当の健康福祉会館内健康増進課(76-6665)へ問い合わせてね。

▼金太郎スタンプが2つあれば、自己申告でもポイントがためられる!

運 スポーツ・運動
食 食生活
心 心の健康・リフレッシュ
活 いきいき生活

今日は、健康になることをしたいという日は、自分で1ポイントつけられます。ウォーキングや体操をした、地産産物や旬の食材を味わった、温泉や旅行でリフレッシュした、清掃などの仕事やボランティア活動、区組の行事参加、婦人会やシニアクラブ活動などの生き生き生活等々。

記入例) 8月3日に運動をした場合
●自分と日付を 8/3 と記入し、通に○をつける。 *****
(注) 自己申告は1日1ポイントです。

ポイントカード
30ポイントの戻りポイントは、金太郎スタンプを2つ集めてもらいましょう。

●記入例
健康福祉会館
健康増進課
健康増進課
健康増進課

氏 名: (姓・名)
生年月日: T・S・H () ()
住 所: () () () () () ()
電話番号: () () () () () ()

おやま健康マイレージ
30ポイント貯めて健康とお得をゲット!
ポイントカード
3月・6月・9月・12月 抽選期間出 演
賞品日: 年 月 日(賞品開当は1年)

QRコードは、おやま健康マイレージリーフレットを提出すると、ポイントカードがもらえます。

(8) 措置⑪健康に関するイベントの開催

- ・自転車利用による健康増進の広報啓発

▼啓発イメージ

- ・運動習慣者の割合の増加を達成するため、自転車を活用した健康づくりに関する広報啓発を実施する。



地域住民の健康づくり推進のため、35歳以上の子育て世代が、3か月に3回集まって体調チェック、大学講師による健康教室、サイクリングを行い、理論と実践を兼ね備えた健康づくり事業(岡山県真庭市)【出典:株シマノ】

出典：地方版自転車活用推進計画 策定の手引き(案)/国土交通省



4.3 サイクルツーリズム

目標：サイクルツーリズムの推進による観光立町の実現

課題	施策	措置
・観光資源を活かした 更なる交流人口の 増加	施策5： 観光資源を活かしたサ イクルイベントの拡充	⑫世界遺産である富士山や、金太郎、自然 豊かな景色などを活かした、サイクリイ ベントの拡充
・観光客のニーズに応 じた受入環境の整備	施策6： 世界に誇るサイクルツ ーリズムの推進	⑬サイクルツーリズムの拠点機能を持つ施 設やサービスの拡充 ⑭e-BIKE 環境の創出 ⑮輪行環境の向上

(1) 措置⑫世界遺産である富士山、金太郎、自然豊かな景色などを活かした サイクリイベントの拡充

- ・既存である「秋の収穫祭！富士山グルメライド」の他に、小山町の資源である富士山や金太郎などを活かした、オリンピックレガシーイベント等の更なるサイクリイベントの拡充

▼2018 秋の収穫祭！富士山グルメライド 開催状況





(2) 措置⑬サイクルツーリズムの拠点機能を持つ施設やサービスの拡充

- ・サイクリストを迎え入れるような、バイクピットの他に更衣室やシャワーブースなどを備えた施設の整備

▼FUJI CYCLE GATE 完成予定図



- ・バイクピットや自転車ラック設置の拡大

▼バイクピット、自転車ラック設置状況



- ・サイクリングコースやオリンピックコースなどの案内標識や銘板の設置

▼銘板イメージ（ナショナルサイクルルートロゴ）



出典：国土交通省



(3) 措置⑭e-BIKE 環境の創出

- ・令和元年度に実験的に実施している e-BIKE レンタサイクルの貸出状況を踏まえ、町内各地での設置を展開

▼e-BIKE のレンタサイクル



(4) 措置⑮輸送環境の向上

- ・輸送方法の周知・PR による自転車利用機会の拡大

▼サイクルラックを備えたバス



▼サイクルトレイン



出典：静岡県自転車活用推進計画

◆輸送

自転車をサイクリングする現地まで持ち運ぶこと



4.4 安全・安心

目標：自転車事故のない安全で安心な社会の実現

課題	施策	措置
・安全な自転車利用に関する意識の向上	施策7： 安全で良好な自転車走行環境の推進	①⑥自転車交通ルール、マナーの周知及び安全利用の啓発推進 ①⑦交通安全指導の実施推進 ①⑧道路利用者（ドライバー、自転車利用者）それぞれへの道路利用する際の安全事項の周知 ①⑨静岡県自転車条例の周知
・災害時における地域の安全・安心の向上に向けた、自転車の利用促進	施策8： 災害時における自転車活用の推進	②⑩自転車のメリット（災害時の活用など）に関する周知

(1) 措置①⑥自転車交通ルール、マナーの周知及び安全利用の啓発推進

- ・自転車通学者を対象とした自転車交通ルール、マナーの周知

▼交通ルール、マナーの周知状況



出典：警察庁



(2) 措置⑰自転車交通安全指導の実施推進

- ・小学生や高校生を対象にした自転車交通安全教室の開催
- ・交通安全協会主体の交通安全教室の開催

▼自転車交通安全教室の様子



(3) 措置⑱道路利用者（ドライバー、自転車利用者）それぞれへの道路利用する際の安全事項の周知

- ・交通安全運動時に自転車の交通安全に関するチラシの配布
- ・回覧による自転車の交通安全周知

▼チラシ配布の様子

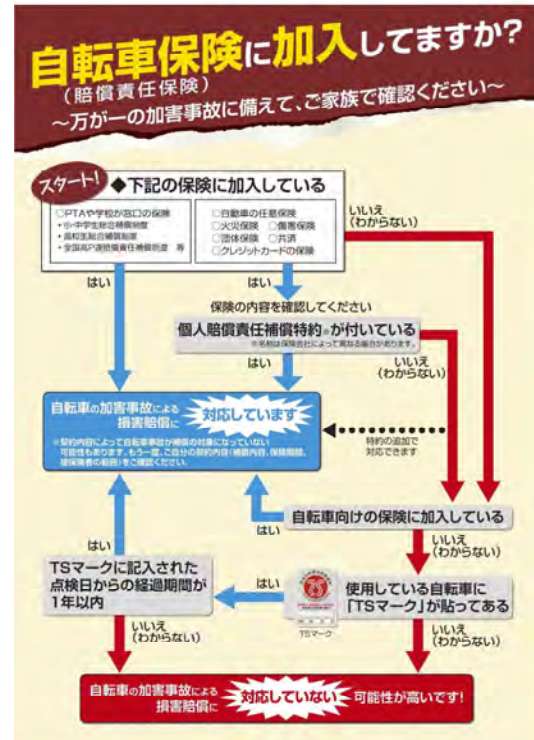




(4) 措置⑨静岡県自転車条例の周知

- ・自転車保険加入義務に関する周知
- ・児童・中学生の自転車通学時、乗車用ヘルメット着用義務化に関する周知

▼静岡県自転車条例 リーフレット



出典：静岡県



(5) 措置②自転車のメリット（災害時の活用など）に関する周知

- ・災害時における正しい自転車利用の推進
- ・庁舎等への自転車配備

【参考：災害時の自転車利用に関する周知、啓発】

- ・国による災害時における自転車の活用に関する課題や有用性の検討結果を踏まえ、被災状況の把握や住民の避難等、災害時における自転車の活用について検討する。

三沢市立第三中学校では、生徒たちが自転車で学校から他の避難所まで避難する訓練を実施(青森県三沢市)
【出典:(一財)青森県教育厚生会 HP】



出典：地方版自転車活用推進計画 策定の手引き（案）/国土交通省

【参考：自転車を活用した被災状況の把握】

- ・災害時における道路その他の被災状況の迅速な把握のため、地方公共団体の庁舎等に自転車を配備し、訓練を重ねる等により危機管理体制を強化する。



道路管理における緊急点検用自転車の配備 【出典:国土交通省】

出典：地方版自転車活用推進計画 策定の手引き（案）/国土交通省



第5章 計画推進に向けた体制、フォローアップ

5.1 計画の推進体制

本計画の推進は、警察、民間企業、行政で組織する「小山町自転車活用推進会議」が中心となり、一定期間ごとに取組の進捗状況や目標指標モニタリング等により、効果・課題などを把握していきます。

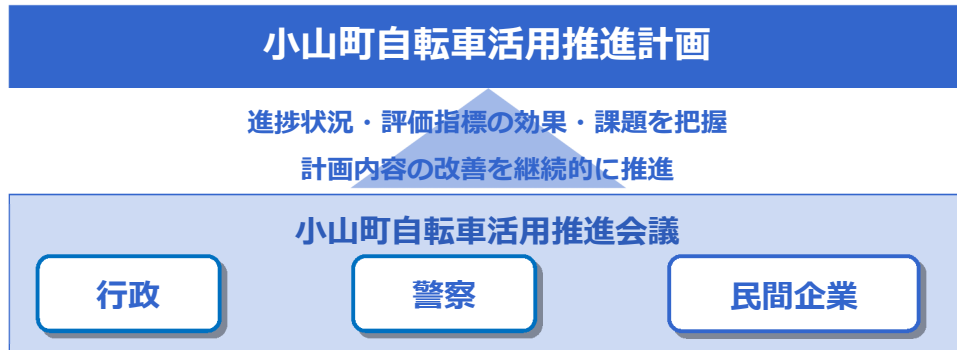


図 5-1 計画の推進体制

5.2 計画のフォローアップ、見直し方法

本計画を推進し、見直しなどの対応を図るためには、取組をしっかりと行った上で、その結果について検証し、目的が達成されるよう、継続的に改善を行っていく必要があります。

そのため、PDCAサイクルを実践し、「小山町自転車活用推進会議」によって、確実に進捗管理を行い、継続的な計画の推進を図ります。



図 5-2 PDCA サイクル



5.3 目標指標の設定

(1) 自転車の利用促進

目標：自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成

施策	措置	目標指標	現状値	目標値
施策1： 自転車ネットワークの形成	①東京2020オリンピック・パラリンピック自転車競技コースを活かした自転車通行空間の整備（ネットワーク計画）	①自転車通行空間整備延長 （各種整備形態合計）	①約16%	①約37%
施策2： 自転車利用の裾野拡大	②自転車の魅力に関するイベントの開催	②自転車の魅力に関するイベント開催数	②年2回	②年4回
	③自転車のメリット（節約、環境にやさしいなど）に関する周知促進	③自転車のメリットに関する啓発活動	③年0回	③年2回



(2) スポーツ・健康

目標：サイクルスポーツの振興等による活力ある健康長寿社会の実現

施策	措置	目標指標	現状値	目標値
施策3： サイクルスポーツの普及、 振興	④東京 2020 オリンピック・パラリンピック自転車競技コースを活かした自転車通行空間の整備（ネットワーク計画）【再掲】	④自転車通行空間整備延長 （各種整備形態合計）	④約 16%	④約 37%
	⑤自転車競技大会の開催	⑤自転車競技大会参加者数	⑤約 7,200 人	⑤約 7,900 人
	⑥マウンテンバイクコースの整備	⑥マウンテンバイクコース数	⑥0 コース	⑥1 コース
	⑦自転車アスリートの育成、競技力向上を支援	⑦町内の自転車競技連盟(JCF)登録競技者数	⑦0 人	⑦10 人
	⑧県内に拠点を置くプロサイクリングチームの活用による自転車競技のPR	⑧県内に拠点を置くプロサイクリングチームの連携事業実施回数	⑧年 1 回	⑧年 3 回
施策4： 自転車を活かした健康づくり	⑨自転車利用による健康増進に関する周知推進	⑨自転車と健康に関する啓発活動方法	⑨0 種類	⑨2 種類 （チラシ、HPを想定）
	⑩おやま健康マイレージを活用した自転車利用促進	⑩おやま健康マイレージを活用した自転車利用に関する啓発活動方法	⑩0 種類	⑩2 種類 （チラシ、HPを想定）
	⑪健康に関するイベントの開催	⑪自転車と健康をテーマにしたイベント開催数	⑪年 0 回	⑪年 2 回



(3) りサイクルツーリズム

目標：サイクルツーリズムの推進による観光立町の実現

施策	措置	目標指標	現状値	目標値
施策5： 観光資源を活かしたサイクルイベントの拡充	⑫世界遺産である富士山や、金太郎、自然豊かな景色などを活かした、サイクルイベントの拡充	⑫サイクルイベント参加者数	⑫約900人	⑫約1,000人
施策6： 世界に誇るサイクルツーリズムの推進	⑬サイクルツーリズムの拠点機能を持つ施設やサービスの拡充	⑬バイシクルピット設置数	⑬14か所	⑬20か所
	⑭e-BIKE環境の創出	⑭e-BIKEレンタル利用者数	⑭約0人	⑭約400人
	⑮輪行環境の向上	⑮町内における輪行可能交通機関数	⑮1機関	⑮2機関



(4) 安全・安心

目標：自転車事故のない安全で安心な社会の実現

施策	措置	目標指標	現状値	目標値
施策7： 安全で良好な 自転車走行環 境の推進	⑯自転車交通ルール、マナーの 周知及び安全利用の 啓発推進	⑯街頭での自転 車利用ルール、マナー 啓発活動	⑯年2回	⑯年3回
	⑰自転車交通安全指導 の実施推進	⑰自転車交通安 全教室開催数	⑰年3回	⑰年4回
	⑱道路利用者（ドライ バー、自転車利用 者）それぞれへの道 路利用する際の安全 事項の周知	⑱自転車乗車中 の人身事故件 数	⑱2.5件 (H28～ R1 平均)	⑱0件
	⑲静岡県自転車条例の 周知	⑲静岡県自転車 条例の周知促 進活動	⑲年2回	⑲年4回
施策8： 災害時にかけ る自転車活用 の推進	⑳自転車のメリット (災害時の活用な ど)に関する周知	⑳災害時にかけ る自転車利用 の周知活動	⑳年0回	⑳年1回